



# 吉母公民館

社会・教育活動を行う施設の中で、特に工夫をこらし、地域住民の学習に大きく貢献しているとして、文部科学省から第75回優良公民館表彰を受けました。  
吉母地域の力の源は。

想いは地域にある  
その想いを形に

本州最西端の公民館で  
女性館長が初めて誕生

橋本京子さんは、新しい発見や学びを与えてくれる、居心地の良い場所として、吉母地域に魅せられた一人です。

令和4年度まで、橋本さんは吉母公民館長としてイベントを企画・運営し、見事、表彰を受けるに至った立役者。そんな橋本さんに着任時のエピソードを尋ねました。

「最初は『女性で地元民ではないあなたに何ができるの?』という雰囲気でした。その上、初仕事では私だけがして…幸先が悪かったです。他には公民館だよりを作っても、ある地域の方から『公



▲(左)橋本京子さん、(右)吉見地区まちづくり協議会吉母部会長・清田幸男さん

民館だよりなんて誰も見やせん」と言われましたね」

強くなる、つながり

公民館だよりを見ない方に、地域のことをどう伝えるか、橋本さんが出した答えの一つが、報道関係者等へ取材依頼することでした。地域での取り組みが放送された結果、地域内外から「テレビで見たいよ」と言われることもしばしば。

また、地域行事にも積極的に参加し「私はこういう者です」とお伝えしながら、少しずつ地域の方々のつながりを感じたそうです。

橋本さんが最も印象に残っているのはご当地かるたの作成でした。「地域の方々が『地域を良くしたい、子どもたちに伝えたい!』という想いを強く感じました。地域の皆さんの想いは一緒。その想いを形にして何かのお役に立ちたい『楽しいね、ありがとうね』と言われることが、私の喜びでした」

元館長×アカレンジャー

「吉母地域には、いろんな



すみっこまちキャンペーン in下関



©SAN-X CO., LTD. ALL RIGHTS RESERVED.

すみっこポイントへ行こう♪

▷開催期間=6月1日~7月31日

▷参加方法



①すみっこごらし  
公式ツイッターをフォロー  
@sumikko\_335

②すみっこまちコラボ  
下関市すみっこ観光MAPで紹介されている  
5カ所のスポットのいずれかで写真を撮り、  
次のハッシュタグ2つを付けてツイート。  
#すみっこまちコラボ #下関



③オリジナルアクリルスタンドをプレゼントします。※応募は何度も可。当選1人1回まで

Editor's note

編集後記

◆球場で開幕戦を観戦して、すっかりファンに。選手との距離が近い、というか、もはやゼロ？ 推し選手とのハイタッチや記念撮影も！宮村  
◆今吉母にはナナ(7)レンジャー以上いるらしい。地域の想い、形にする力、強いリーダーシップがある。実行性が高い「地域戦隊」ですね。西村  
◆くりすさんのBMXの大迫力のショーを間近で見て感動！ ジャンプできる高さはなんと、4m以上。自転車の可能性を感じました。廣野



◀吉母かるた  
「ジャンボかるた大会」  
吉母部会、水産大学の学生ボランティアらで内容を考え、吉母小学校児童、地域住民、大学生が絵札をデザイン。  
地域の豊かな文化や自然、歴史を学習できる内容です。



▶文化祭「景品作り」  
子どもたちが実行委員として参加。子どもたちが自分たちで考え、行動する力を養うことができるだけでなく、地域のつながりや交流を深めることができました。



◀本州最西端キャンドルナイト  
「牛乳パックとペットボトルを使ってランタン作り」  
家庭や学校で作って、持ち寄っていただいたランタンの数は600個を超えました。

▶昆沙ノ鼻ウォーキング  
「恐竜と吉見軟式野球スポーツ少年団」  
30年前に当時国内最古とされる恐竜の足跡化石が見つかった吉母海岸を含むコース。  
参加者たちは地元ガイドの案内で、吉母地区の自然や歴史に触れながら歩きました。



特技を持ったゴレンジャーがいるんです(笑)。これができるよ、あれができるよ、とちよっとずつ力を出し合って進めていただいています。吉見地区まちづくり協議会吉母部会長の清田さんはアカレンジャーなんです。私が企画での不安事を相談すると「俺が責任取る、やれ」って言うんですけど「ださいます」と橋本さん。そんな頼もしい存在の清田さんが、当手を振り返ります。「彼女は最初不安だったと思います。一人でいろんなことをしないとイケない。でも彼女は活発で、情報発信とかいろいろなことをしてくれたおかげで、私を通さなくても

地域の人が公民館に寄ってくれます。そうやって、地域と公民館との触れ合いができたんです。彼女は地域の想いを形にして、知恵やアイデアを私に出してくれて、信頼しています。それに、地域の皆さんがせっかくやる気になって、手続き等のために実施まで数カ月かかる…それじゃ何もできんでしょ！ 誰が責任を取るのか!? 私しかないじゃないですか！ もちろん無茶はしませんよ。地域ですることですから、まず取り組ましましょうよ。悪かったら後から直せばいいんですよ。吉母地域には頼りになる人がたくさんいるんですから」